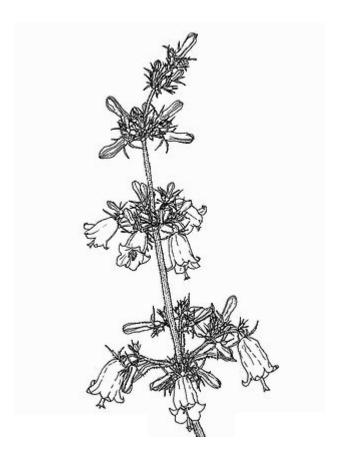
稲城野草散策の会

野草スケッチツリガネニンジン(キキョウ科)



1996/08/29

稲城市坂浜

絵と文 Ta

秋の七草は山上憶良の歌「萩の花尾花葛花なでしこの花女郎花また藤袴朝貌の花」で知られている。これらは立秋のころから咲き出すものが多く、カンカン照りの中で花を見ることがある。

現代の季節感覚にはマッチしないように思う。

話してみると、そういう思いを感じている人は結構いるようだ。

会報第21号 2006年9月24日発行 発行責任者 尼子 房夫

そんなことがあって、パソコン通信のフォーラムで、新・秋の七草を選定しては どうか、という話が持ち上がったことがある。

最終的に、何が入ったのかは忘れてしまったが、その中にツリガネニンジンがあった。

ツリガネニンジンは夏の終わり頃から咲き始める。

このスケッチをしたのは8/29であった。

まだ暑い盛りの中で、汗だくになって描いたことを思い出す。

新・秋の七草にはふさわしくないか、という気もかすめたが、ツリガネニンジンの花期は長い。10月ころまでは十分咲いている。

秋風にそよいで、かすかに揺れているさまは、なんともいえない風情がある。や はり「秋の草」だ。

ツリガネニンジンは日当たりの良い草原を好む。

高原ならいざ知らず、多摩丘陵に草原(そうげん)はない。あっても、草原(くさはら)と呼ぶ程度のものである。

小規模な牧草地、放置した畑、開発途中の空き地なども草原ではあるが、こういったところにはツリガネニンジンはまず生えない。

何十年何百年絶えず草刈をされていた山の斜面や雑木林の縁が好みである。

ツリガネニンジンが好みそうな環境は、一目見ればそれとわかる。

一言でいえば、手入れの良い斜面である。

別に斜面である必要はないのだが、平らな場所は耕作地として利用されているため、咲いてはくれない。

稲城でツリガネニンジンを見るとしたら、やはり坂浜地区、ということになる。 他では見られないわけではないが、坂浜は断然確率が高い。

それだけ良い環境がたくさんある証拠といえよう。

1人でぷらりと出かけるのであれば、若葉台駅から京王線の高架に沿って北(調布方向)へ歩くとよい。

駅から300mほど先に階段があり、それを登ったら左へ行けば田んぼがある。 そのあたりにもツリガネニンジンは咲いているはずだ。

ツリガネニンジンとよく似た花にソバナがある。

花の着き方が違っていて、ソバナはツリガネニンジンのような輪生(同じ節から

何本も花の枝が出る)にはならない。

低山にはあるが、多摩斤陵では見たことがない花だ。

南山を歩いていたときに、どこかのグループがソバナがあったといって、標本用に採集していた現場に出会ったことがある。

見せてもらったが、私にはツリガネニンジンの発育不全に見えた。

草刈されたりして、輪生が崩れてしまうこともあるのだ。

稲城野草散策の会でも同じような「ソバナ騒ぎ」が起きたことがあった。 だれかが「ソバナだ」と言い出して、皆でよってたかって検討した。 たしかに花が1個づつ着いている。輪生ではない。 しかし、花の開き方はツリガネニンジンである。ソバナはもっと先が開く。 葉も違う、などから、これもツリガネニンジンの奇形ということで落ち着いた。 たぶんないとは思うが、ソバナが多摩丘陵のどこかに潜んでいる可能性は否定できない。

多摩丘陵にはソバナに限らず、私が見たことがない花が、まだあるのではないかと思う。10数年も歩いた後でオオカモメヅルが見つかった(コバノカモメヅルの項参照)ように。

「砂漠が美しいのは、どこかに井戸をかくしているからだよ・・・」これは「星の王子さま」(内藤濯訳) の一節である。

多摩丘陵も、まだ見たことがない花を隠しているから、輝いて見えるのかもしれない。

* * * * *

〔観察記録〕8月27日 大丸用水

毎年恒例の大丸用水観察会です。今回は少し蒸し暑かったものの一日中曇りで 観察会としては過ごしやすい一日でした。最後になっての飛び入りを入れると8 0名の参加でした。

お目当てのナンバンハコベは見られませんでしたが、クズ、センニンソウ、ワルナスビ、ヘクソカズラ、ノシラン、カワラケツメイ、ヤブラン、ヒメヤブランなどなどの花が見られました。途中の人家で咲いていたルドベキアの仲間の黄色の花はトウゴウギクだと思います。終点の矢野口駅近くでヨコハママンネングサを見て、本日の観察会は終了しました。

次回は、9月24日(日)横沢入です。仙台伊達政宗が所望した白い萩が見られると思います。またお会いしましょう。(FAM)

南多摩駅近くの用水の傍でシンテッポウユリが咲いていました。これはタカサゴユリとテッポウユリの間の雑種です。シンテッポウユリの説明が下記サイトにあります。ご参考までに。

http://www48.tok2.com/home/mizubasyou/118takasagoyuri,htm (FAM)

◆観察記録(番号順)

(O1)ママコノシリヌグイ(花)	(02)カナムグラ	(O3)ワルナスビ(花)
(O4)コヒルガオ(花)(実)	(05)キツネノマゴ(花)	(06)シマスズメノヒエ
(07)キンエノコロ	(08)アカツメクサ(花)	(O9)シロツメクサ(花)
(10)オオブタクサ	(11)エゴノキ(実)(虫えい)	(12)オニグルミ
(13)センニンソウ(花)	(14)イタドリ(花)	(15)イボタノキ(実)
(16)ネズミノオ	(17)オオニシキソウ(花)	(18)アレチウリ(花)
(19)メドハギ(花)	(20)カラムシ	(21)ヘクソカズラ(花)
(22)マルバヤハズソウ(花)	(23)ツルマメ(花)	(24)オギ
(25)クズ(花)	(26)シンテッポウユリ(花)	(27)オヒシバ
(28)メヒシバ	(29)ヤブマオ	(30)セイバンモロコシ
(31)ヤブカラシ	(32)クコ	(33)タラノキ
(34)ムクノキ	(35)ヒメムカシヨモギ(花)	(36)オオアレチノギク(花)
(37)シャクチリソバ	(38)ヨウシュヤマゴボウ	(39)ヤブラン(花)
(40) ノシラン(花)	(41)アカメヤナギ	(42)オオカナダモ?
(43)コゴメガヤツリ	(44)カヤツリグサ	(45)タマガヤツリ
(46)メリケンガヤツリ	(47)スカシタゴボウ	(48)オオカワヂシャ
(49)ザクロソウ	(50)イヌガラシ	(51)メタセコイア(並木)
(52)ガガイモ(花)	(53)エノキ(実)	(54)ヒロハホウキギク
(55)オオカナダモ(花)	(56)ヤマハギ	(57)オオイヌタデ
(58)ハマヒサカキ	(59)ノブドウ	(60)コセンダングサ(花)
(61)ヘラオオバコ	(62)アリタソウ	(63)アレチハナガサ(花)
(64)アメリカネナシカズラ	(65)ブタクサ	(66)イヌキクイモ(花)
(67)ネナシカズラ	(68)カワラサイコ	(69)コマツヨイグサ(花)
(70)(欠番)	(71)カワラケツメイ(花)	(72)イヌアワ
(73)カラスウリ(実)	(74)キヅタ	(75)イボタノキ(実)
(76)ツルボ(花)	(77)ツルマンネングサ	(78)ヒメヤブラン(花)
(79)ニガカシュウ(むかご)	(80)オニグルミ(実)	(81)イヌコウジュ

◆お渡しした資料に載っていなかったもの

ヤブマオ、ザクロソウ、ハマヒサカキ、カワラサイコ、カワラケツメイ、シロツメクサ、オオニシキソウ、オクラ、ミソハギ、コマツヨイグサ、タラノキ、キヅタ、ハナウド、イボタノキ、コヒルガオ、ネナシカズラ、アメリカネナシカズラ、アレチハナガサ、ハナトラノオ、オオカワヂシャ、ノウゼンカズラ、ブタクサ、オオアレチノギク、ジシバリ、シンテッポウユリ、ヒメヤブラン、ノシラン、ツルボ、キツネノカミソリ、二ガカシュウ、イヌアワ、タマガヤツリ

◆今回歩いたコース



◆ネナシカズラには根がある?

観察会で質問を受けました。" 芽が出る時、根は無いのかしら?" えっ??? で、本を開きました。そうなのです。幼少の頃は根があるのです。花が咲き、蒴果が出来、種子は土の中から芽と根をだします。つるが伸びてくるとさっそく寄生植物を探し巻きつきます。巻きついた所から下は、絡みついた所から枯れていきます。こぶのような寄生根をだし、寄主に差し込み、養分を吸収します。殺さない程度に。おお怖。(ぽんこ)

ネナシカズラとアメリカネナシカズラを同時に比較できてうれしかったです。 ふんふんと細いソーメンのようなアメリカネナシカズラの花を撮影し、実と思っ て写したこの写真、蒴果とありますが、これなんでしょう?おもしろい形をして いますね。(ぽんこ)



ぽんこさん、こんばんは。 これは実ではなく、虫えいのよ うです。某MLに記述がありまし た。

「マダラケシツブゾウムシ(体長2mm 程度)というゾウムシの虫えいでネナシカズラツルコブフシといいます」ふ~む、寄生植物に寄生する昆虫もいるんだ(^_^)(Ta)

これ、荒川河川敷なんかにたくさんでるもので、この話題、昨年「のこさん」 のページで展開したのですが、『ネナシカズラツルコブフシ』。

本来、『マメダオシ』なんかに寄生していた『マダラケシツブソウムシ』が、外来の『アメリカネナシカズラ』でもいいやということで、外来雑草に寄生するようになったという・・・。

だいたい、外来雑草に寄生する虫、本来日本にあるはずないんですよね。

で、それはまァ、いいのですが、この虫こぶに早い時期から穴が見つかるんですね。中の虫が出て行った穴ではなさそうだということでいろいろ調べてみると、「アメリカネナシカズラに寄生したマダラケシツブゾウムシの幼虫に、さらに寄生する寄生蜂がいる」ということがわかりました。



私は全然わからないのですが、調べてみると、『コマユバチ科』の一種と、それ 以外に他にも、もう一種類いるらしい。

ややこしいんだけれど

他の植物に寄生する外来雑草に、本来日本にいるはずのない寄生虫がいて、 その寄生した幼虫にさらに寄生する虫がいた。 ということのようです。

問答無用の野生の世界ということのようです。(ポンチ@東京下町)

〔行事予定〕2006/9/24(日) 横沢入

古口	≣ X □ R
項目	説 明
集合	JR五日市線武蔵増戸駅 改札口付近 am10時 ※会旗目標
	改札口は一個所だけです
交 通	JR中央線立川駅発9:15(ホリデイ快速あきがわ5号)→武蔵
	増戸駅9:50着が便利
	進行方向に向って後部4両があきがわ号です。前部6両は奥多摩行
	きです。ご注意下さい
行く先	横沢入の林道を歩きます。
(解散場所)	武蔵五日市駅 pm4時頃解散予定
見所	大悲願寺(伊達政宗ゆかりのハギ)、ツリフネソウ、クルマバナ、ヤ
その他	ブツルアズキなど。
	ほかにちょっと変わった赤いキバナアキギリも見られます
地 図	
	中野 中野 大型 (1000) (
コース	武蔵増戸駅〜踏切〜大悲願寺〜横沢入(昼食)〜林道〜三内〜武蔵
	五日市駅
	コースは天候その他により変更する場合があります
	ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

【大悲願寺】 大悲願寺は白萩の美しさで有名なお寺です。

独眼竜政宗の名で知られている仙台藩主の伊達政宗が大悲願寺に立ち寄られた ことがあります。後にこの見事な白萩を一株譲って欲しいと手紙を送ってこられ ました。手紙は『白萩文書』と言われ、東京都有形文化財として所蔵されていま す。この白萩が芝居で有名な「千代萩」の元祖だといわれています。

〔行事予定〕2006/9/30(土) 城ヶ島

東 合		=× n□
改札口は一個所だけです 交通 京浜急行線品川駅から快速特急三崎口行き8:45発をご利用下さい。三崎口駅9:54着 三崎口から城ヶ島行きのバス10:05に乗りますので、これに遅れないようにお願いします(電車・バス料金は各自負担) 行く先 (解散場所) 城ヶ島一周・京浜急行線三崎口駅 pm4時頃解散予定 見所 その他 タブ、ヤブニッケイ、トベラ、イヌピワ、フウトウカズラなど、照葉樹林の樹木。イソギク、ワダン、ハナイソギク、ラセイタソウなどの海浜植物。波食台、しゅう曲、断層、炎状構造などの地層 地図 大ス乗場	項目	説 明
交 通 京浜急行線品川駅から快速特急三崎口行き8:45発をご利用下さい。三崎口駅9:54着 三崎口から城ヶ島行きのパス10:05に乗りますので、これに遅れないようにお願いします(電車・バス料金は各自負担) 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」 「「「「「「「「	集 合	京浜急行線・三崎口駅 改札口付近 am10時 ※会旗目標
い。三崎口駅9:54着 三崎口から城ヶ島行きのバス10:05に乗りますので、これに遅れないようにお願いします(電車・バス料金は各自負担) 行く先 (解散場所) 見所 その他 「要が、ヤブニッケイ、トベラ、イヌビワ、フウトウカズラなど、照 葉樹林の樹木。イソギク、ワダン、ハナイソギク、ラセイタソウなどの海浜植物。波食台、しゅう曲、断層、炎状構造などの地層 地図 「ス展集 ************************************		改札口は一個所だけです
三崎口から城ヶ島行きのバス10:05に乗りますので、これに遅れないようにお願いします(電車・バス料金は各自負担) 「行く先 (解散場所) 「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」 「「「「」」」」 「「「」」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「「」」 「」」 「「」」 「」 「」」 「」」 「」	交 通	京浜急行線品川駅から快速特急三崎口行き8:45発をご利用下さ
れないようにお願いします(電車・バス料金は各自負担) 行く先 (解散場所) 見所 その他		い。三崎□駅9:54着
行く先 (解散場所) 見所 その他 葉樹林の樹木。イソギク、ワダン、ハナイソギク、ラセイタソウな どの海浜植物。波食台、しゅう曲、断層、炎状構造などの地層 地図		三崎口から城ヶ島行きのバス10:05に乗りますので、これに遅
(解散場所) 見所		れないようにお願いします(電車・バス料金は各自負担)
見所 その他 葉樹林の樹木。イソギク、ワダン、ハナイソギク、ラセイタソウなどの海浜植物。波食台、しゅう曲、断層、炎状構造などの地層 地 図 「「ス乗場」 「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	行く先	城ヶ島一周・京浜急行線三崎ロ駅 pm4時頃解散予定
その他 葉樹林の樹木。イソギク、ワダン、ハナイソギク、ラセイタソウなどの海浜植物。波食台、しゅう曲、断層、炎状構造などの地層 地図 バス降車(**) がっ重れの泉 **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(解散場所)	
世紀 図	見所	タブ、ヤブニッケイ、トベラ、イヌビワ、フウトウカズラなど、照
地 図 10 10 10 10 10 10 10 1	その他	葉樹林の樹木。イソギク、ワダン、ハナイソギク、ラセイタソウな
西山 遊・崎 本本 水っ重れの泉 地層の炎状構造 (オドリタフ) 馬の背洞門 城ヶ島 ミニ照葉樹林 安勝崎 1000 昼食		どの海浜植物。波食台、しゅう曲、断層、炎状構造などの地層
	地図	がス乗場。
コース 三崎□駅→ (バス) →城ヶ島・白秋碑前→一本松→城ヶ島公園→安 房崎(昼食) →城ヶ島公園→馬の背洞門→西山→バス乗場→ (バス) →三崎□駅 (解散) コースは天候その他により変更する場合があります	コース	房崎(昼食)→城ヶ島公園→馬の背洞門→西山→バス乗場→(バス) →三崎□駅(解散)
ご用のある方は途中で抜けても構いません		ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

- ★稲城野草散策の会**会報のバックナンバー**が若干あります(欠けたものあり)。
- ご希望の方にお領けしますので、尼子までお申し出下さい。

〔行事予定〕2006/10/21(土) よこやまのみち

	I
項目	説明
集合	am10時、小田急多摩線唐木田駅改札口付近 ※会旗目標
	唐木田駅の改札口は一個所だけです
交 通	小田急線新百合丘駅乗り換え小田急多摩線で終点まで
	京王相模原線橋本行で京王永山乗り換え小田急多摩線で2駅目
	多摩都市モノレール多摩センター駅で乗り換え小田急多摩線で 1
	駅目
行<先	小田急多摩線唐木田駅から「よこやまのみち」を歩きます。
(解散場所)	pm3時半頃解散予定
見所	「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれた「よこや
その他	まのみち」を歩きます。
地図	東台公園 ・ 中の
コース	上記の地図は前回のものです。今回のコースは小田急多摩線唐木
	田駅〜八王子市別所方面を予定しており、下見をして決めます。
	コースは天候その他により変更する場合があります
	ご用のある方は途中で抜けても構いません
※川雨決行	参加申込み不要、会費当日300円。

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

〔行事予定〕2006/10/28(土) 調布野草園

項目	説明
集合	am10時、神代植物公園正門 ※会旗目標
交 通	集合場所が「深大寺門」から変更になっています。ご注意下さい。 ・ 京王線調布駅 北口ロータリー・パルコ前
	小田急バス 13番乗り場 吉祥寺行、三鷹行 京王バス 14番乗り場 深大寺行
	・京王線つつじヶ丘駅 北口
	京王バス 深大寺行 ・ 中央線三鷹駅 南口
	小田急バス 5番乗り場 調布行 小田急バス 4番乗り場 深大寺行
	・中央線、京王井の頭線吉祥寺駅 南口丸井デパート前
	小田急バス 4番乗り場 調布行 小田急バス 6番乗り場 深大寺行
	* いずれも「神代植物公園前」下車。バスの乗車時間は約20 分から25分程です。
行く先 (解散場所)	神代植物公園内観察、調布野草園観察 調布野草園pm4時頃解散予定
見所	セキヤノアキチョウジなど秋の野草
地図	株代植物公園 ★ 深大寺 深大寺 アンジャ丘駅 水 野草園 つつじヶ丘駅 水 観寺 本 大正寺 水 園 光寺 大正寺 水 大田 東 大田

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円 神代植物公園入園料500円(65歳以上250円)各自負担